

# 環境保全中期計画

コパタグループの環境経営の基本方向を具体化するものとして環境保全中期計画を策定し、推進しています。

## ▶ 2008年度目標と実績

課 題	取り組み項目	管理指標	基準年度	目 標	実 績	自己評価※
①地球温暖化の防止	CO <sub>2</sub> の削減	CO <sub>2</sub> 排出原単位	2007	▲1%	+12.0%	×
			2004	▲10.9%	+0.8%	×
			1990(本体生産)	▲26.3%	▲15.8%	×
		CO <sub>2</sub> 排出量	2004	2004年度以下	+12.3%	×
			1990(本体生産)	1990年度以下	▲23.7%	◎
②環境配慮製品・サービスの拡大	物流CO <sub>2</sub> の削減	CO <sub>2</sub> 排出原単位	2007	▲1%	▲1.9%	◎
			2006	▲5.0%	▲5.8%	○
②環境配慮製品・サービスの拡大	環境配慮製品の拡充	RoHS対象物質削減機種比率	—	25%	24.1%	×
③循環型社会の形成	廃棄物の削減	排出原単位	2007	▲2%	+5.5%	×
			2004	▲14.5%	▲8.0%	×
		排出量	2007	▲2%	+1.2%	×
			2004	▲0.8%	+2.4%	×
	ゼロ・エミッション(埋立比率)	総使用量	2007	▲1%	▲6.0%	◎
			2004	▲6.4%	▲11.1%	◎
④有害化学物質の削減	PRTR法対象物質の削減	購入金額比率	—	96%	91.7%	×
			2007	▲2%	+2.2%	×
		排出移動原単位	2004	▲31.6%	▲28.6%	×
			2007	▲2%	▲2.0%	○
⑤環境マネジメントシステムの拡充	環境マネジメントシステムの構築	排出移動量	2004	▲20.5%	▲20.5%	○
			2004	▲20.5%	▲20.5%	○
⑤環境マネジメントシステムの拡充	環境マネジメントシステムの構築	グループ会社 環境マネジメントシステムの構築	—	1事業所	1事業所	○

※自己評価の基準 ◎…目標超過達成 ○…目標達成 ×…目標未達成

## ▶ 新・環境保全中期計画を策定

2008年度までの実績を踏まえ、取り組み項目と目標の見直しを行いました。

課 題	取り組み項目	管理指標	基準年度	目 標			
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
①地球温暖化の防止	CO <sub>2</sub> の削減	CO <sub>2</sub> 排出原単位	2008	▲1%	▲4%	▲7%	▲10%
			(2004)	(▲0.2%)	(▲3.2%)	(▲6.2%)	(▲9.3%)
			(1990(本体生産))	(▲16.7%)	(▲19.2%)	(▲21.7%)	(▲24.2%)
		CO <sub>2</sub> 排出量	2008	▲1%	▲4%	▲7%	▲10%
			(2004)	(+11.1%)	(+7.8%)	(+4.4%)	(+1.0%)
②循環型社会の形成	物流CO <sub>2</sub> の削減	CO <sub>2</sub> 排出原単位	(1990(本体生産))	(▲24.4%)	(▲26.7%)	(▲29.0%)	(▲31.3%)
			2008	▲1%	▲2%	▲3%	▲4%
			(2006)	(▲6.8%)	(▲7.7%)	(▲8.7%)	(▲9.6%)
		廃棄物排出原単位	2008	▲2%	▲4%	▲6%	▲8%
			(2004)	(▲9.9%)	(▲11.7%)	(▲13.5%)	(▲15.4%)
③化学物質の管理	PRTR法対象物質の削減	排出移動原単位	2008	▲2%	▲4%	▲6%	▲8%
			(2004)	(▲30.1%)	(▲31.5%)	(▲32.9%)	(▲34.4%)
		製品に含まれる化学物質の削減	2008	▲2%	▲4%	▲6%	▲8%
			(2004)	(▲30.1%)	(▲31.5%)	(▲32.9%)	(▲34.4%)
	製品に含まれる化学物質の削減	RoHS対象物質削減機種比率	—	25%	30%	35%	40%